

エプソン用 ヘッドクリーニング液 顔料用・染料 使用手順書

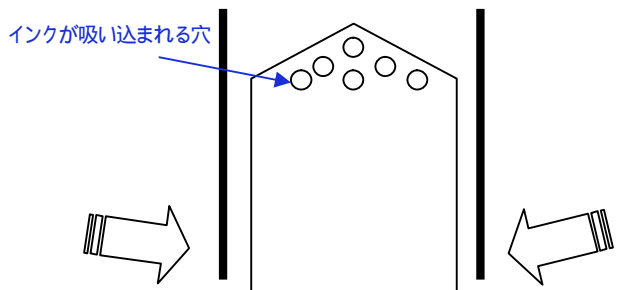
印字がされない、インクが出ない場合の基本チェックを行っていただいた後ヘッドクリーニングをメーカー推奨回数行ってもクリアされない場合、以下の方法をお試しください。クリーニング液はインクの溶剤です。**正しく使用すればクリーニング液でプリンタが故障することはありません。**

場合によってはクリーニング液が飛び場合があります。また、作業上爪や指先にインクがつく場合があります。心配な方は汚れても良い格好や手袋を装着していただき、液が飛ばないように注意して作業をお願いします。

キャリッジ内に装着されているカートリッジ各色をすべてはずします。

シリンジの2目盛り分クリーニング液を吸い上げます。詰まりの度合いは外からわからないため、まずはこの量から開始します。出ない色が1色でも全色に対して行った方が良いと思います。

ヘッド部分のインク導入用ニードル(突起)にシリンジのチューブをしっかりとさしこみます。できれば空いている方の手で下の図のように突起の元を押さえ込みます。(爪や指先にインクがつきます)



詰まりがひどい場合

クリーニング液をシリンジから押し出す時、先に進まないため圧力でチューブがはずれて勢いのついたクリーニング液が飛び散ることがあります。また、クリーニング液が穴から入っていかず、チューブとニードルの隙間より液が漏れ出てニードルの根元に溜まる場合があります。漏れてしまうと効果がありませんのでしっかり押さえ込んで行ってください。



押して抵抗感がある場合は詰まっています！

株式会社デジタルトレンド

複数の色をクリーニングする場合、前にクリーニング液を流し込んだ部分の色のインクがシリンジおよびチューブ内に残る場合があります。気になる場合はクリーニング液を少し吸い上げて軽くゆすいでください。もしくは水洗いして乾燥させてから次の色での作業に移ってください。

詰まりのない場合はプランジャーをほとんど押さなくてもスルスルとクリーニング液が吸い込まれてゆきます。EPシリーズは機構によりチューブをつないでからピストンを引きにくいいため、クリーニング液を注入する方法のみで洗浄を行います。ピストンをいっきよに押さずに小刻みに押すと入りやすいです。特定の色が目詰まりしていても全色クリーニングする方が効果的です。

それほど詰まりがひどくない場合 プリンタの電源を入れたままの状態の数時間放置した後、カートリッジを戻しクリーニングとノズルチェックを行ってみます。これでインクが出ない場合は**再度クリーニング液を各ニードルに充填してから詰まっている場合**の箇所を行います。(ノズルチェック等でクリーニング液が流れてしまっているため)

詰まっている場合 プリンタの電源を入れたままの状態の数時間放置した後、カートリッジを戻してさらに1日ほど放置します。(カートリッジを戻すのは乾燥を防ぐためです)
クリーニング液でインク汚れを溶かしている間に、プリンタの電源の入切やカートリッジ交換終了合図(OK ボタンを押すなど)をされますとインクの充填やクリーニングが開始されクリーニング液が流されてしまい洗浄の意味をなさなくなってしまいますのでご注意ください。
その後クリーニングを行いすぐにインクが出ない場合は商品ホームページよりカラーパターン印刷および単色ベタ印刷を行ってインクを流通させ各色まんべんなく吐出出来ているか確認します。

注意

お客様のプリンタの廃インクタンクの状態によっては、作業中に発生するプリンタ側のクリーニングにより廃インクタンクエラー(満杯メッセージ)が表示される可能性があります。ご承知の上洗浄作業を行っていただきますようお願いいたします。(廃インクタンクエラー自体はドットカウントのためクリーニング液そのものとは無関係です)

クリーニング液による洗浄を行ってもインクのかすれ等が解消されない場合は、元々インクの固着などによるノズル詰まりではなく、ポンプユニットやヘッドキャップ(消耗品。プリンタヘッドとは異なります)のハード的故障など元々の不具合が疑われます。部品の故障ですのでクリーニング液を使用しても直りません。

使用歴5年ほどの染料インク使用プリンタにおける作業手順の例

- (1)ヘッド交換、廃インクタンク交換等の修理歴はなし。
- (2)これまで1ヶ月程の未使用期間をたびたび挟みながら順調に使用してきたがクリーニング回数が増加。
- (3)クリーニング ノズルチェック印刷 ベタ印刷等を行ってもストライプ状にしかならなくなったためクリーニング液を使用してのクリーニングを執行。
- (4)クリーニング液を注入し3時間放置後プリンタプロパティからのクリーニングを行い8割がたインクが出るようになったが今ひとつカスレが取れないため、シリンジにクリーニング液を入れられない状態で押し引きしその後の作業は終了。
- (5)翌日プリンタプロパティからのクリーニングを1回行った後、カラーパターンと単色ベタ印刷を行ったところ問題なく印刷できるようになった。

ポイント1

クリーニング液での洗浄で解消されるのは「インクのかすれ等によりインク流路の通りが悪い場合」です。制御基板故障やヘッドキャップ摩耗によりインクのかすれ現象が発生しますがその場合は修理しないと解消されません。

ポイント2

クリーニング液を押し引きする際に抵抗感を感じる場合は詰まりがある証拠です。目安にしてください。

ポイント3

ノズルチェック印刷はインクの使用量が少量のため、ノズルチェックの結果は問題なくても実際の印刷段階ではきちんと印刷出来ない場合があります。カラーパターンおよび単色ベタ印刷で確認しましょう。

カラーパターンおよびベタ印刷によりインクをきちんと流通させる効果もあります。

ポイント4

カートリッジを何日も外しっ放しにしますとインクが固着しますので避けてください。

ポイント5

ノズルの詰まり度合いに対してクリーニング液の量が少なかったり、放置時間が不足していると溶解途中のインクが原因でインク流路の通りが悪くなり、詰まっていた色だけでなく全色とも出なくなる場合があります。

その場合は「解消されない時は」の手順に従って再度クリーニング液の洗浄を行ってください。

ポイント6

詰まりの度合いは数値化できません。クリーニング液でインク汚れを溶解するにはある程度時間が必要です。急ぐあまり全作業工程を短時間に行っても詰まりの程度によっては効果が出ない場合があります。